

平成22年度ひろしまの森づくり事業

1 ねらい

県土の保全や水源かん養などの森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、「ひろしまの森づくり県民税」を財源に、県民共有の財産である森林を環境に貢献する森林として、県民全体で守り育てる事業を推進する。

2 事業内容及び予算額

「ひろしまの森づくり県民税」の税込相当額を「ひろしまの森づくり基金」に積み立て、毎年度所要額を取り崩して事業を実施する。
(単位：千円)

区 分	事 業 内 容	事業主体	予算額
補助金事業	ひろしまの森再生（人工林対策）	市町	347,259
交付金事業	やすらぎの里山活用（里山等の対策）	市町	396,000
	木のぬくもり発見（間伐材利用対策）		
	うるおいのまちづくり		
	特 認 事 業		
県実施事業	ひろしまの森づくり（県民意識の醸成）	県	109,000
合 計			852,259

3 取組状況

区分	実施事例（H20～H21）			
補助金事業	◆災害危険地周辺のヒノキの間伐（H20） 広島市安佐北区小河原 整備面積0.4ha		◆主要道路沿いのスギの間伐（H21） 廿日市市吉和 整備面積5.9ha	
交付金事業	◆小学生の林業体験学習（H20 北広島町） 町内の各小学校から3～6年生75人が参加し間伐体験等を実施		◆手入れが不十分な里山林の整備（H20, H21 安芸高田市） 地域の里山を憩いの場として整備	
	◆公共空間への間伐材ベンチの設置（H20 福山市） 福山駅周辺の商店街に16基設置		◆地元住民やボランティア団体、企業等と連携した里山再生活動（H21 尾道市）【特認事業】 約300人の参加により苗木2,000本を植樹	
県実施事業	◆県民参加の森づくりへの意識啓発を図るシンポジウムを開催（H20） 参加者数：300名		◆森の働きや「ひろしまの森づくり事業」等を学んだ子ども達が都市部の親子を案内する体験バスツアーを実施（H21） 参加者数：80名	